



## 熊本地震復興応援!!日帰りバスハイク

# 「イチゴ狩り・釣り体験とランチバイキング」報告

～ 阿蘇ファームランド・イチゴ狩りで爆食!! 金魚で爆釣!! そして爆睡!! ～



3月21日(水・祝日)天気は雨、2017年度レク行事「日帰りバスハイク」が開催されました。この企画、参加者70名と多いのも印象的だが、ファミリーで参加しやすかったのか、19家族64名とファミリー参加率90%超えの「ファミリーほのぼの企画」となりました。今回は阿蘇ファームランドおよびイチゴ狩りの企画なんだけど、参加人数が多いのでこれが結構大変。このレク報告は、参加したレクリエーション部会員(子供担当)S個人の感想で報告させていただきます。

まずは阿蘇ファームランドに向かうのだが、熊本地震から2年ということもあり、まだまだ復興の最中で、阿蘇大橋下流を迂回路として通るのだが、その風景は衝撃的。あの地震の凄さを改めて思いかえしました。迂回路は狭く蛇行しており、大型バスを扱う運転手さんには大変お世話になりました。

阿蘇ファームランドに到着後、まずはイチゴ狩りを行う予定でしたが、昼食時の混雑を避けるために急遽スケジュールを変更。早めの昼食をとることとしました。昼食はバイキング形式。各々好きなものを食べるのだが、料理前はさながら戦場でもある。特に子供の参加が多いので、小さな体に大きなプレート。お父さんお母さんはさらに大変。また、次のイベントがイチゴ狩りなので食べる量にも注意が必要になる。そんななか、かなりの痛手を負ったのがSである。Sは懐いた子供たちと昼食をとるのだが、子供たちの好きそうなエビフライやデザート等々取り集め、自分用にはエビフライカレー(1.4kg程度)を作成しテーブルに持って行く。だが子供たちが全く手を付けない。大量に残すわけにもいかないので、ドリンクで流し込む。ドリンク含む3kgほど胃に入れる大怪我を負った。



S曰く「僕、イチゴ喰えないから大丈夫っす・・・。」

Sを除く参加者は胃に程よく隙間を作り、次のイベントイチゴ狩りに挑むのである。4品種のイチゴが食べ放題。屋内ハウス栽培なので雨が降っても大丈夫。食べた後のへたを入れるカップを受け取り、時間内での食べ放題がスタート。各々に好みのイチゴレーンへ。それぞれのレーンは3段(上、中、下)になっていて、小さい子供達でもイチゴが採れるようになっているため、熟したものを見つけては“パク!!”また見つけては“パク!!”となかなか手が止まりません。また、結構奥行きのあるハウスなので、奥に行けばいくほど大きく熟したイチゴ

がいっぱい生っていました。昼食を食べた子供達でも10個以上は食べており、大人でも20-30個は食べていました。ちなみに別料金を支払えば、練乳がもらえて別の味を楽しむことができます。また、イチゴはグラム単位での販売もっており、家に持ち帰ってゆっくりと味わうこともできます。

Sは果物を食べないので、ハウス内で販売されていた「トマトコーラ(税込200円)」を興味本位で購入。トマトの風味はあるものの、コーラ感が強くさっぱりとして飲みやすかったです。#あくまでも個人の感想によるものです。



続いて「金魚釣り大会」。阿蘇ファームランド内にある施設で気軽に楽しめる金魚の釣り堀。釣った数によってガラガラ抽選会ができて、お菓子と交換するシステムになっています。この金魚釣り、思った以上に難しい。餌を付け投げ込めば、金魚は集まってくるんだけど、なかなか釣れない。うまい具合に餌だけをとっていきのた。また、釣り針には返しがないので、釣ったと思っても逃げられることもしばしば。それでも子供たちは「何匹目釣れた」「〇〇ちゃんは何匹??」など互いに競って楽しんでいました。



この後は天気も悪かったので、ちょっとした自由時間を取り帰ることにしました。帰りのバスは子供向けDVDの上映を行ない、腹いっぱいSは爆睡。途中、道の駅大津で休憩し皆無事に帰宅することになりました。

今回、家族での参加が多く、ちょっとした家族サービス企画になりました。また、以前参加してくれた子供たちも大きくなって参加してくれ、Sは「月日が経つのは早い」「僕だけ成長していない」等、感慨にふけていました。

2018年度のレク企画もお楽しみに。

レクリエーション部会ニュース	NO. 4	熊本大学教職員組合レクリエーション部会
	2018. 3. 27	内線 3529 ku-kyoso@union.kumamoto-u.ac.jp